




Dell プロジェクタ 1220/1450 取扱説明書



メモ、注意、警告

-  **メモ**：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意**：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。
-  **警告**：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味します。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2015 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標 :Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴは、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル : Dell プロジェクタ 1220/1450

2015 年 6 月 Rev. A02

目次

1	Dell プロジェクタについて	4
	プロジェクトボックスの内容.....	4
	プロジェクトの上方図と底面図.....	5
	プロジェクトの接続.....	6
2	プロジェクトのセットアップ	8
	投影画像の調整.....	8
	リモコンの使用法.....	13
	プロジェクトの接続.....	18
3	プロジェクトの使用法	23
	プロジェクトの電源を入れる.....	23
	プロジェクトの電源を切る.....	23
	メニュー設定.....	24
4	プロジェクトのトラブルシューティング	39
	ガイド信号.....	43
	ランプの交換.....	44
5	仕様	46
	互換モード(アナログ/デジタル).....	49
6	Dell へのお問い合わせ	51
7	付録:用語集	52

1

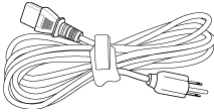
Dell プロジェクタについて

このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell までご連絡ください。

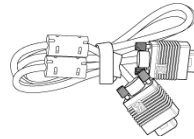
プロジェクタボックスの内容

1220/1450 に同梱されているもの

電源ケーブル



VGA ケーブル (VGA から VGA)



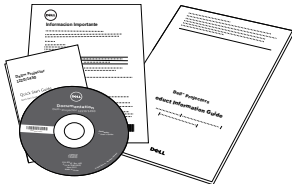
リモコン



単 4 電池 (2)

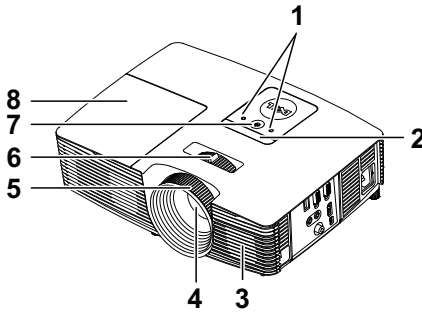


CD ユーザーガイドおよびドキュメント

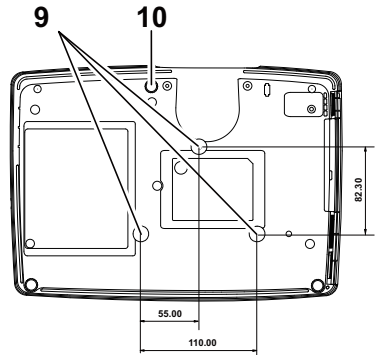


プロジェクタの上方図と底面図

上方図



底面図

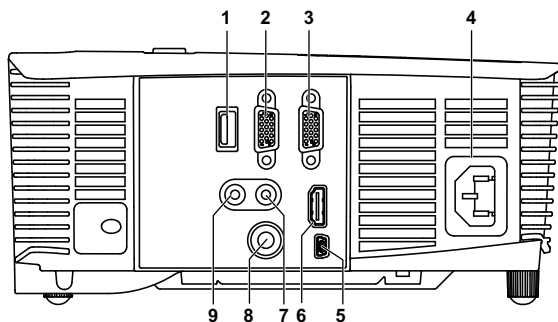


- | | |
|----|-------------|
| 1 | ステータインジケータ |
| 2 | IR レシーバ |
| 3 | 2W スピーカー |
| 4 | レンズ |
| 5 | フォーカスリング |
| 6 | ズームタブ |
| 7 | 電源ボタン |
| 8 | ランプカバー |
| 9 | 取付ホール(天吊り用) |
| 10 | 傾斜調整ホイール |



メモ: 天井取り付けねじ穴 M3 x 6.5mm 深度。推奨トルク <15 kgf-cm。

プロジェクタの接続



1 +5V DC アウトコネクタ	6 HDMI コネクタ
2 VGA 出力 (モニターループスルー) コネクタ	7 オーディオ入力コネクタ
3 VGA 入力 (D サブ) コネクタ	8 コンポジットビデオコネクタ
4 電源コードコネクタ	9 オーディオ出力コネクタ
5 ミニ USB (ミニタイプ B) コネクタ (リモートマウスおよびファームウェアアップグレード用)	

△ 注意: この章で説明する交換処理の前に、ページ 7 にある「安全上のご注意」をお読みください。

✎ メモ: 5V DC アウトコネクタ、1450 プロジェクタでのみ利用可能。

注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 40°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 レンズを拭くときはアルコールを使用しないでください。



メモ：

- お客様自身でこのプロジェクタの天井取り付けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ天井取り付けキット (P/N:C3505)。詳細については、Dell サポート Web サイト (dell.com/support) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。
- 1220/1450 プロジェクタは室内専用です。

2

プロジェクトアのセットアップ

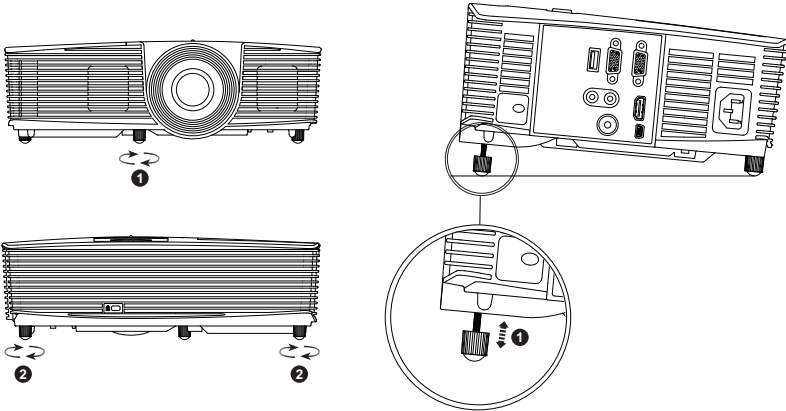
投影画像の調整

プロジェクトアの高さを上げる

- 1 プロジェクタを任意の高さまで上げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。
- 2 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

プロジェクトアの高さを下げる

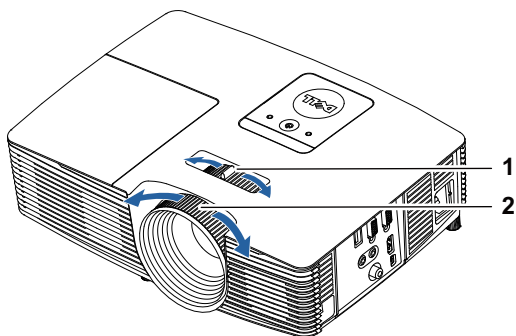
- 1 プロジェクタを下げ、前面傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。



-
- 1 前面傾斜調整ホイール
(傾きの角度: -5 ~ 5 度)
 - 2 傾斜調整ホイール
-

プロジェクタのフォーカス調整

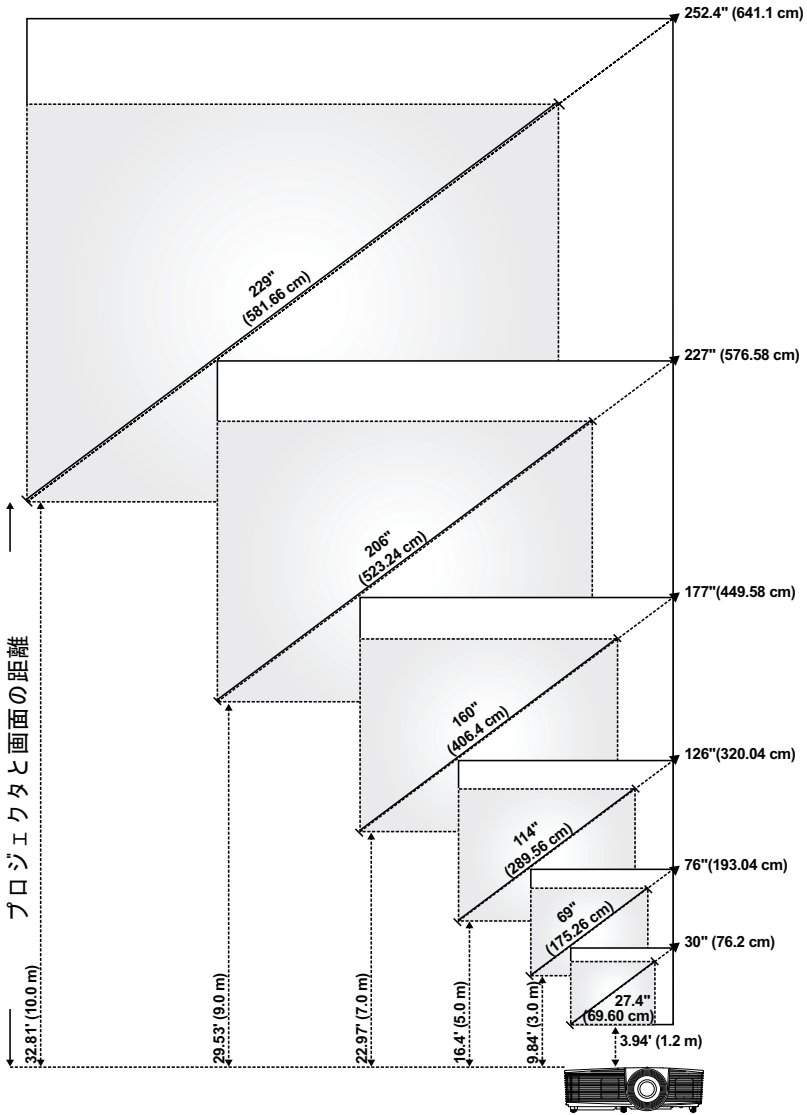
1 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 3.94 ft ~ 32.81 ft (1.2 m ~ 10 m) です。



1 ズームタブ

2 フォーカスリング

画像サイズの調整



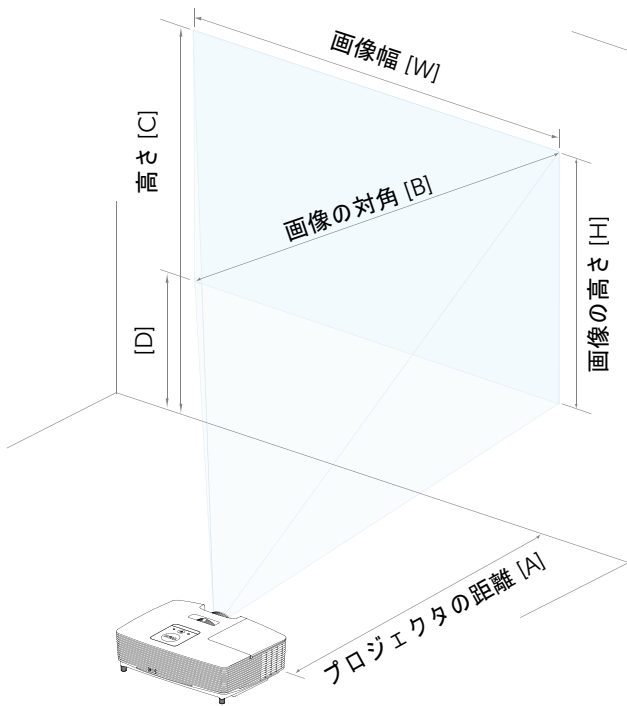
画像形状の調整

投影距離 (m) [A]	最小ズーム				
	画像サイズ			プロジェクタのベースから画像の上部まで (cm) [C]	プロジェクタのベースから画像の下部まで (cm) [D]
	対角 (インチ /cm) [B]	幅 (cm) [W]	高さ (cm) [H]		
1.2	27.4 インチ (69.6 cm)	56	42	48	6
3	69 インチ (175.26 cm)	140	105	120	15
5	114 インチ (289.56 cm)	233	174	201	27
7	160 インチ (406.4 cm)	326	244	281	37
9	206 インチ (523.24 cm)	419	314	361	47
10	229 インチ (581.66 cm)	465	349	401	52

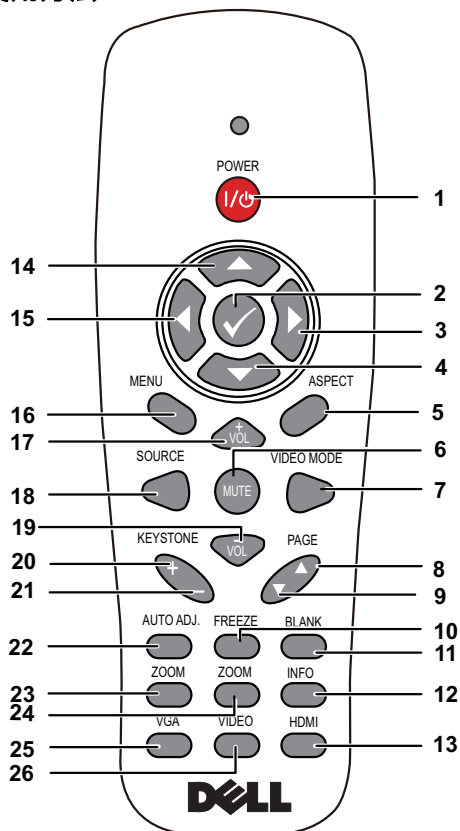
投影距離 (m) [A]	最大ズーム				
	画像サイズ			プロジェクタのベースから画像の上部まで (cm) [C]	プロジェクタのベースから画像の下部まで (cm) [D]
	対角 (インチ /cm) [B]	幅 (cm) [W]	高さ (cm) [H]		
1.2	30 インチ (76.2 cm)	62	46	53	7
3	76 インチ (193.04 cm)	154	115	133	18
5	126 インチ (320.04 cm)	256	192	221	29
7	177 インチ (449.58 cm)	359	269	310	41
9	227 インチ (576.58 cm)	462	346	398	52
10	252.4 インチ (641.1 cm)	513	385	442	57


* この表はユーザーの参照用です。

* オフセット比 : 115 ± 5%




リモコンの使用法




1 電源 





プロジェクタの電源のオン / オフを切り替えます。詳しくは、ページ 23 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 23 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。





2 入力 

このボタンを押して選択を確定します。


3 右 

このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。

4	下 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
6	Mute 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
7	Video mode	<p>プロジェクタには、データ (プレゼンテーションスライド) やビデオ (映画、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。</p> <p>Video Mode ボタンを押して、プレゼンテーションモード、明るさモード、映画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。</p> <p>Video Mode ボタンを1回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 Video Mode ボタンを押すと、モードが切り替わります。</p>
8	ページ上 ▲	<p>このボタンを押して前のページへ移動します。</p> <p> メモ: ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。</p>
9	ページ下 ▼	<p>このボタンを押して次のページへ移動します。</p> <p> メモ: ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。</p>
10	Freeze	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「Freeze」をもう一度押すと再生に戻ります。
11	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
12	情報	このボタンを押して、プロジェクタのネットワーク解像度情報を表示します。
13	HDMI	このボタンを押して HDMI ソースを選択します。

14	上 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
15	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
16	Menu	このボタンを押して OSD を起動します。
17	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
18	Source	このボタンを押して、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、HDMI ビデオソースを切り替えます。
19	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
20	キーストーン調整 +	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
21	キーストーン調整 -	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (+/- 40 度)。
22	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。
23	Zoom +	このボタンを押して画像を上げます。
24	Zoom -	このボタンを押して画像を下げます。
25	VGA	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
26	Video	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ:** 使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

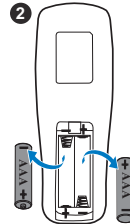
1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

①



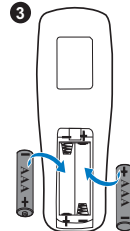
2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。


②



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

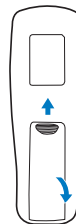
③



 **メモ:** 異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

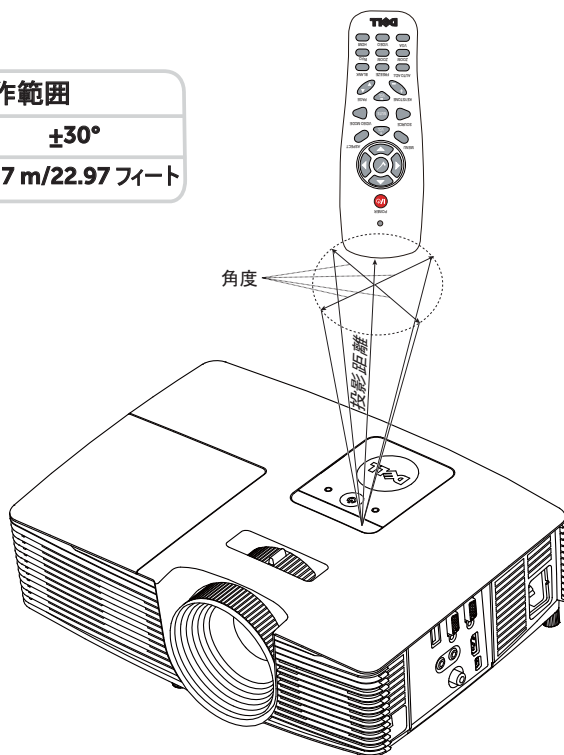
4 バッテリーカバーを元に戻します。

④



リモコンの動作範囲

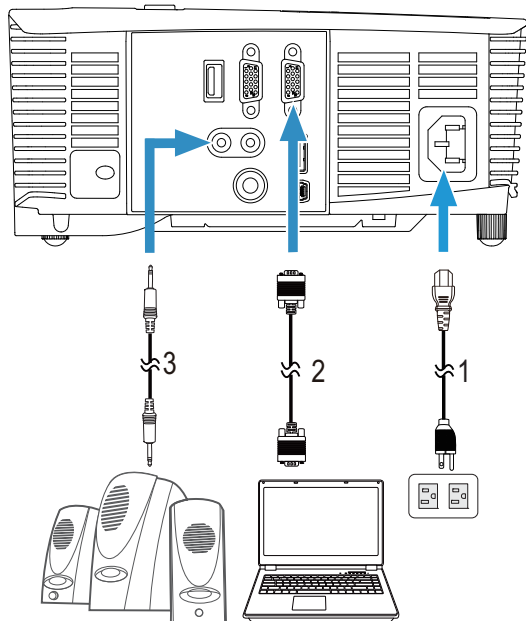
動作範囲	
角度	±30°
投影距離	7 m/22.97 フィート



メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

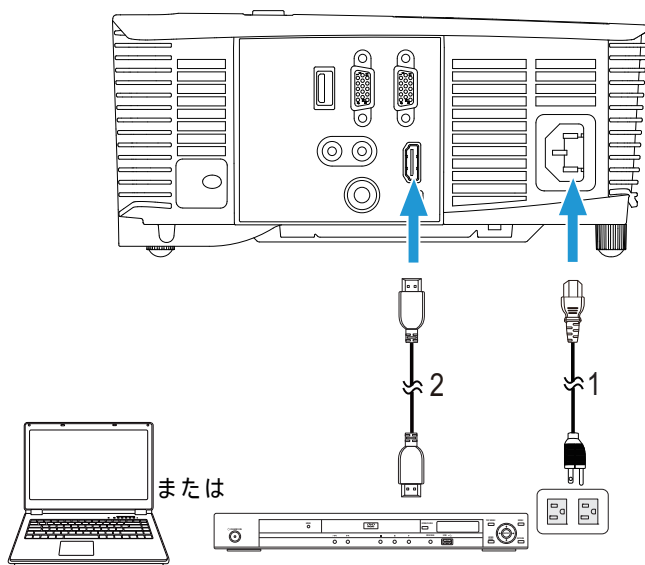
プロジェクタの接続

VGA と外部スピーカーに接続する




- | | |
|---|----------------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | VGA - VGA ケーブル |
| 3 | オーディオケーブル |

HDMI で接続する

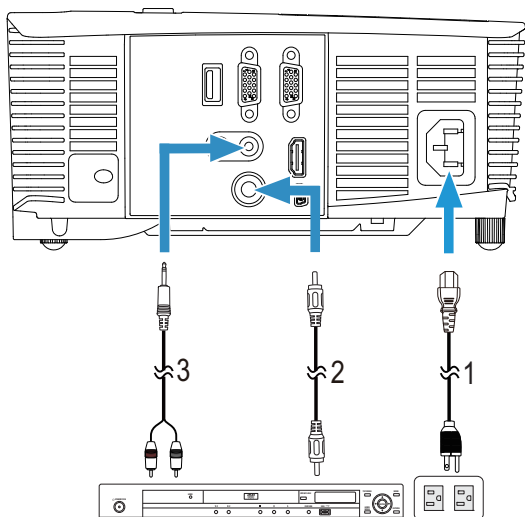


1 電源コード

2 HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

コンポジット AV で接続する

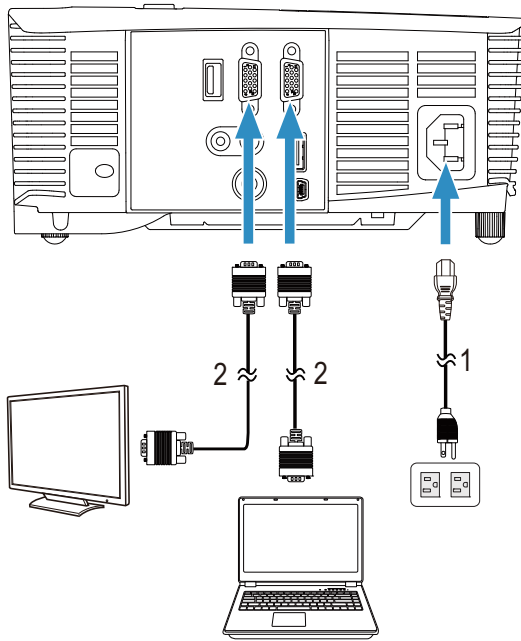


- 1 電源コード
- 2 コンポジットビデオケーブル
- 3 コンポジットオーディオケーブル




メモ: コンポジットビデオケーブルとコンポジットオーディオケーブルはプロジェクトに付属していません。

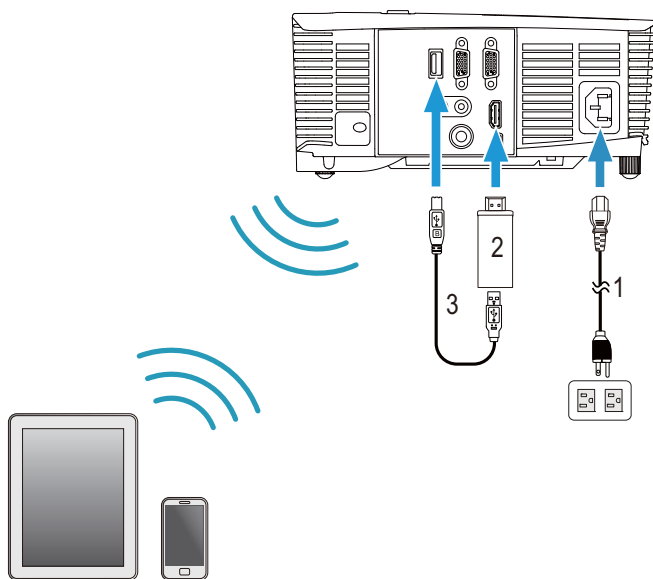
VGA ループスルー経由で外部モニタに接続する



- 1 電源コード
- 2 VGA - VGA ケーブル

 **メモ:** プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

HDMI 経由でワイヤレスディスプレイアダプタに接続する (1450 のみ)



- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | ワイヤレスディスプレイアダプタ |
| 3 | USB-A - ミニ USB-B ケーブル |


- 1 レシーバーを HDMI ポートに接続し、その USB ケーブルを電力が供給された USB ポートに接続します。
- 2 HDMI ソースモードに切り替えます。
- 3 レシーバーのセットアップ指示に従い、セットアップを完了します。

 **メモ:** ワイヤレスディスプレイアダプタはプロジェクタに付属していません。Dell Web サイト www.dell.com でワイヤレスディスプレイアダプタをご購入いただけます。

3


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、ページ 8 の「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します(電源ボタンの位置については、ページ 13 の「リモコンの使用方法」を参照してください)。
- 3 ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 8 の「プロジェクタのセットアップ」を参照してください。
- 5 デフォルトで、入力ソースは VGA 入力に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンの **Source** ボタンを押して、希望するソースを選択します。**Source** ボタンを確認するには、ページ 13 の「リモコンの使用方法」を参照してください。


プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。










 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、**Menu** ボタンを押してメッセージを消去します。

- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

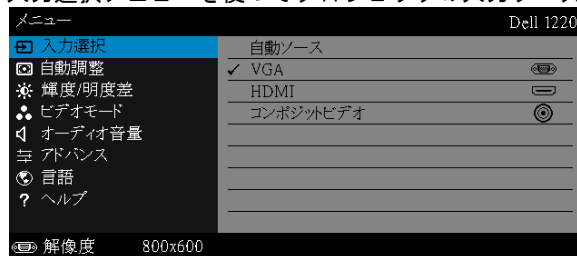
- 4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。


メニュー設定

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- リモコンの Menu ボタンを押して、メインメニューに移動します。
- メインメニューのタブの間を移動するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- リモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、リモコンの  ボタンを押します。
- OSD を終了するには、直接、リモコンの Menu ボタンを押します。

入力選択


入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。



自動ソース  を押して有効にすると、自動ソースオプションが次の使用可能な入力信号を自動検出します。

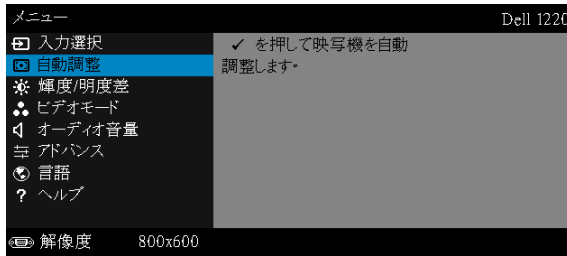
VGA  を押して VGA 信号を検出します。

HDMI  を押して HDMI 信号を検出します。

コンポジットビデオ  を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

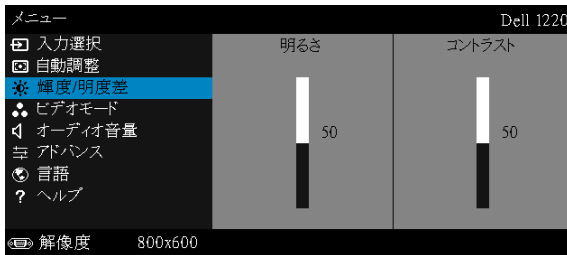
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクタの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。






輝度 / 明度差

輝度 / 明度差メニューにより、プロジェクタの輝度 / 明度差設定を調整できます。



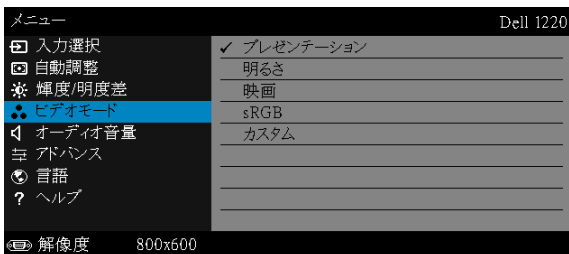
明るさ —  や  を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト —  や  を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

 **メモ** : 明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

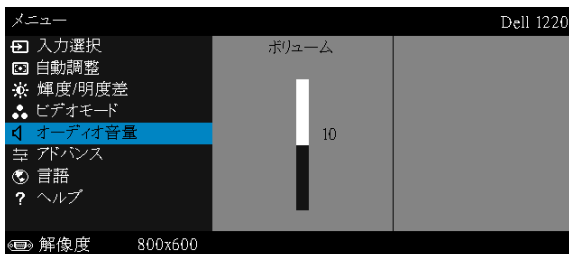
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、および**カスタム**（お好みの色を設定します）。



オーディオ音量

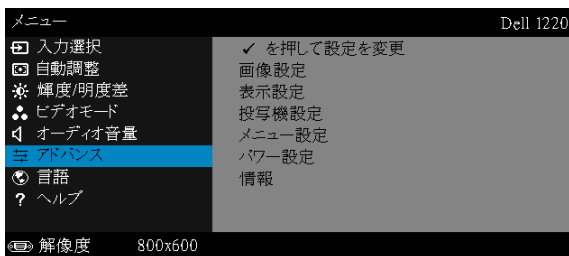
オーディオ音量メニューにより、プロジェクタのオーディオ音量設定を調整できます。



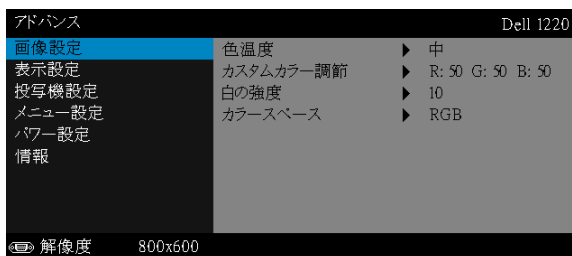
オーディオ音量 — を押してオーディオ音量を上げ、 を押してオーディオ音量を下げます。

アドバンス

アドバンスメニューは、**画像**、**表示**、**投写機**、**メニュー**、**パワー**、および**情報**の設定を変更します。



画像設定 (PC モード)— を選択して押し、画面設定を起動します。
画像設定メニューには次のオプションがあります。



色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節—赤、緑、青の色を手動で調整します。

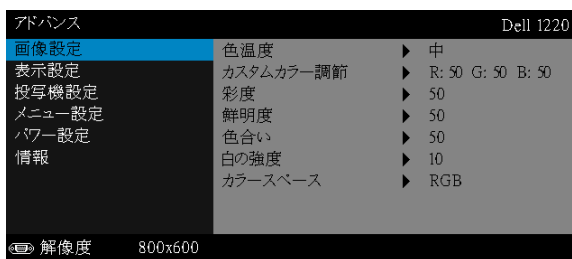
白の強度— を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース—色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、および YPbPr があります。



メモ：色温度、カスタムカラー調節および白の強度の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定 (ビデオモード)— を選択して押し、画面設定を起動します。
画像設定メニューには次のオプションがあります。



色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節—赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を増やし、を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度—を押して鮮明度を上げ、を押して鮮明度を下げます。

色合い—を押して画像の緑の量を増やし、を押して画像の緑の量を減らします。

白の強度—を押し、とを使用して白の強度を表示します。

カラースペース—色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、およびYPbPrがあります。



メモ：

- 1 **色温度、カスタムカラー調節、彩度、鮮明度、色合いおよび白の強度**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 **彩度、鮮明度と色合い**は、入力ソースがコンポジットやSビデオから出ている場合のみ使用可能です。

表示設定 (PC モード)—を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell 1220
画像設定	水平位置	▶ 50
表示設定	垂直位置	▶ 50
投写機設定	周波数	▶ 50
メニュー設定	トラッキング	▶ 50
パワー設定	縦横比	▶ 元
情報	ズーム	▶ X 3
	ズームナビゲーション	▶ <input checked="" type="checkbox"/> を押す
	3Dディスプレイ	▶ オフ
	3D形式	▶ 並んで

解像度 800x600

水平位置—を押して画像を右へ移動し、を押して画像を左へ移動します。



垂直位置—を押して画像を上へ移動し、を押して画像を下へ移動します。

周波数—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。




トラッキング—ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。オプション：元、16:10、16:9 および 4:3。


- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。





ズーム —  と  を押して、画像をズームし表示します。



 または  を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション —  を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

3D ディスプレイ — オンを選択して 3D ディスプレ機能を有効にします (デフォルトはオフ)。

メモ：

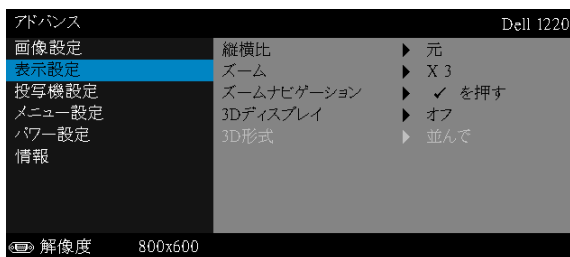
- 1 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。
 - d 3D プレーヤー。
- 2 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります：
 - a VGA ケーブルにより120 Hz信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオによる一連の 3D コンテンツを入力します。
- 3 「3D ディスプレイ」選択はプロジェクタが上記の入力のいずれかを検出するとき、「アドバンスの表示設定」メニューでのみ有効にされます。

- 4 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280x720、1024x768、800x600 (120 Hz)
 - b コンポジット (60 Hz)
- 5 ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)。
- 6 HDMI 1.4a 3D サポートサポート率：
 - a 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装
 - b 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
 - c 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
 - d 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
 - e 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
 - f 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
 - g 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
 - h 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

3D 形式—3D ディスプレイ機能が有効になっているときは常に、3D フォーマットを選択できます。オプション：並んで、並んでフル、フレーム順次、フィールド順次、上ボタンとフレーム包装。

3D 同期反転—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

表示設定 (ビデオモード)— を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。





縦横比—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。




- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:9 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:9 スクリーン画像を投影します。

•16:10 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。


•4:3 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。





ズーム –  と  を押して、画像をズームし表示します。



 または  を押して画像の倍率を調整し、 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション –  を押してズームナビゲーションメニューを起動します。

    を使用してプロジェクション画面をナビゲートします。

3D ディスプレイオン を選択して 3D ディスプレ機能を有効にします (デフォルトはオフ)。



メモ:

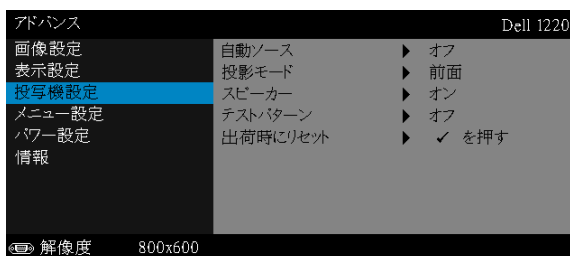
- 1 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - a 120 Hz 信号出力四重化バッファカードを搭載するデスクトップ PC/ ノート PC。
 - b DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - c 3D コンテンツ。
 - d 3D プレーヤー。
- 2 以下の条件をいくつか満たすと、3D 機能が有効になります。
 - a VGA ケーブルにより120 Hz信号で出力できるグラフィックスカード搭載の、デスクトップ PC/ ノート PC。
 - b ビデオによる一連の 3D コンテンツを入力します。
- 3 「3D ディスプレイ」選択はプロジェクタが上記の入力のいずれかを検出するとき、「アドバンスの表示設定」メニューでのみ有効にされます。
- 4 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - a VGA/HDMI 1280x720、1024x768、800x600 (120 Hz)
 - b コンポジット (60 Hz)
- 5 ノート PC 用に推奨される VGA 信号は、単一モード出力です (デュアルモードはお勧めできません)。
- 6 HDMI 1.4a 3D サポートサポート率：
 - a 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装

- b 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
- c 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
- d 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
- e 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
- f 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
- g 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
- h 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

3D 形式—3D ディスプレイ機能が有効になっているときは常に、3D フォーマットを選択できます。オプション：並んで、並んでフル、フレーム順次、フィールド順次、上ボタンとフレーム包装。

3D 同期反転—DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

投写機設定— を選択して押して、プロジェクタ設定を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。



自動ソース—オフ(デフォルト)を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモード**を**オフ**に設定した状態で **Source** ボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。**オン**を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で **Source** ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

投影モード—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- **リアプロジェクションデスクトップ**—プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
- **背面投影-天井取り付け**—プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付けで透過画面の裏面から投影できます。

• **フロントプロジェクションデスクトップ** – これは初期設定オプションです。

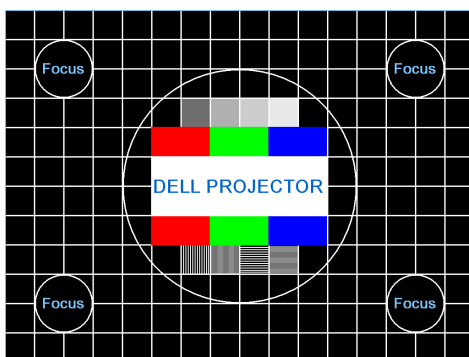
• **前面投影 - 天井取り付け** – 天井取り付けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。

スピーカーオンを選択してスピーカを有効にします。**オフ**を選択してスピーカを無効にします。

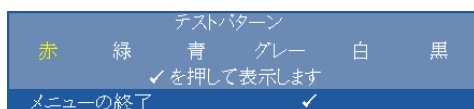
テストパターン – テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、**テストパターン1**または**テストパターン2**を選択することで、テストパターンの有効/無効を切り替えることができます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:

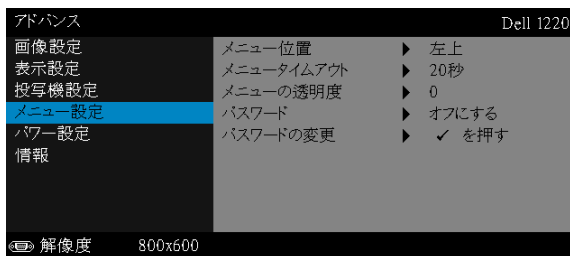


出荷時にリセット – 確認を選択して を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます。

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

メニュー設定 を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。



メニュー位置 —OSD メニューの画面上の位置を変更します。

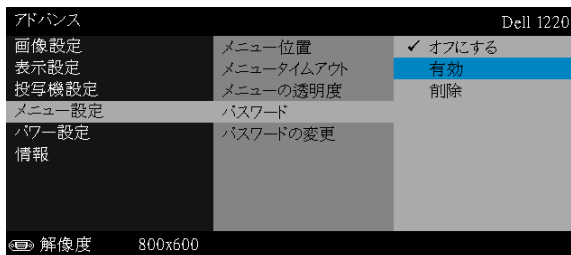
メニュータイムアウト —OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。


メニューの透明度 —OSD 背景の透明度レベルを変更します。

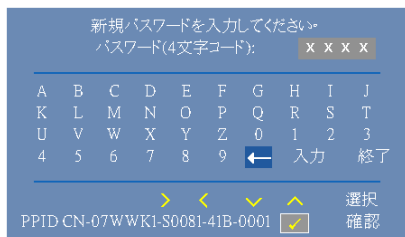
パスワード —パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。


1 初回パスワード入力の要請。

- a **メニュー設定**に移動し、 を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を有効化します。



- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **メモ:** パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除オプション**を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ▲ 選択
確認

PPID-CN-07WWK1-S0081-41B-0001

新規パスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ▲ 選択
確認

PPID-CN-07WWK1-S0081-41B-0001

新しいパスワードを再入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ▲ 選択
確認

PPID-CN-07WWK1-S0081-41B-0001

パワー設定 ①を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell 1220
画像設定	オートシャットダウン	▶ 120分
表示設定	ランプモード	▶ ノーマル
投写機設定	ランプリセット	▶ ✓ を押す
メニュー設定	電源オンビープ音	▶ オン
パワー設定		
情報		
② 解像度	800x600	

オートシャットダウン—デフォルトで、プロジェクタは 120 分間動作しないと自動シャットダウンモードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、自動シャットダウンモードに切り替わるとい警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、自動シャットダウンモードは停止します。

自動シャットダウンモードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクタはオフになります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。


ランプモード—ノーマルまたはエコモードを選択します。

ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

ランプ時リセット— を押して確認オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

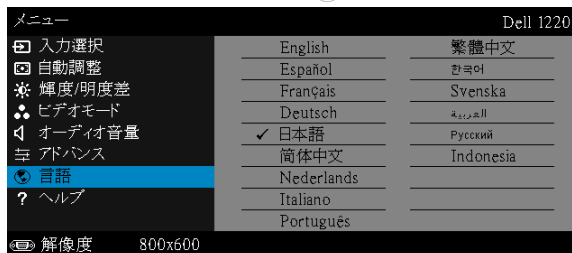
電源オンビープ音—オンを選択して電源オンビープ音を有効にします。静音を選択して電源オンビープ音を無効にします。

情報—「情報」メニューには、現在の 1220 または 1450 プロジェクタ設定が表示されます。

アドバンス	Dell 1220
画像設定	モデル名 : Dell 1220
表示設定	オペレーション時 : 10 hours
投写機設定	PPID : CN-07WWK1-S0081-41B-0001
メニュー設定	FW版 : M0R001
パワー設定	
情報	
 解像度	800x600

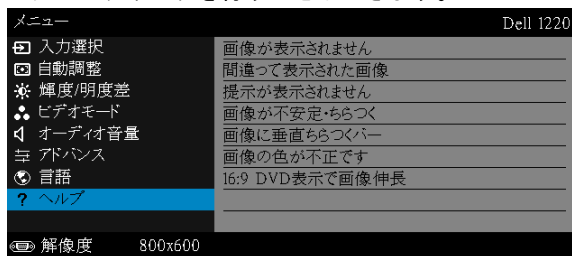
言語

OSD 用の言語を設定します。⓪を押して言語メニューを起動します。



ヘルプ

プロジェクトに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



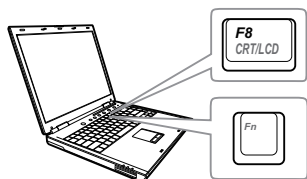
4

プロジェクトラのトラブルシューティング



プロジェクトラに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell へのお問い合わせはページ 51 をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない





解決方法

- 「入力選択」メニューで、正しい入力ソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 8 の「プロジェクトラのセットアップ」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (ページ 44 の「ランプの交換」をご覧ください)。
- 詳細設定の投写機設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない



解決方法 (続き)

- 1 リモコンの自動調整ボタンを押します。
- 2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を SVGA (800 x 600) または XGA (1024 x 768) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの使っていない部分を右クリックし、プロパティをクリックして、次に、設定タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 800 x 600 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく

アドバンスメニューの OSD **表示設定** でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

画像に縦線が入る

アドバンスメニューの OSD **表示設定** で周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、アドバンスタブの OSD **画像設定** で信号の種類を RGB に設定してください。
 - アドバンスメニューの **投写機設定** のテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.94 フィート [1.2 m] ~ 32.81 フィート [10 m])。
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD のアドバンスメニューの表示設定で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	<p>OSD でアドバンスの投写機設定を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 44 の「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと電源ライトがオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度ライトがオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
温度ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない	電池の残量が少なくなっています。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。

ガイド信号

プロジェクトの状態	説明	コントロールボタン	インジケータ	
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	白	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 ☑メモ:OSDメニューにアクセスしていません。	白	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35°C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内であることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色で点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オレンジ色で点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	白	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色で点滅

ランプの交換

△ **注意:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 7 にある「安全上のご注意」をお読みください。

メッセージ「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」が画面上に表示されるときは、ランプを交換してください。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、Dell までお問い合わせください。詳しくは、ページ 51 の「Dell へのお問い合わせ」を参照してください。


△ **注意:** オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ **注意:** ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

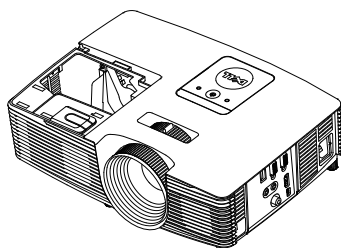
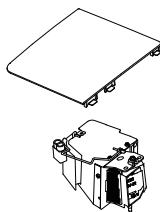
△ **注意:** 電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ **注意:** ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 1 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ:** Dell は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。


- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 1 本のネジを締めます。



9 アドバンスメニューの OSD パワー設定のランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします (ページ 37 のアドバンスメニューのパワー設定を参照)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



注意: ランプの廃棄 (米国のみ)

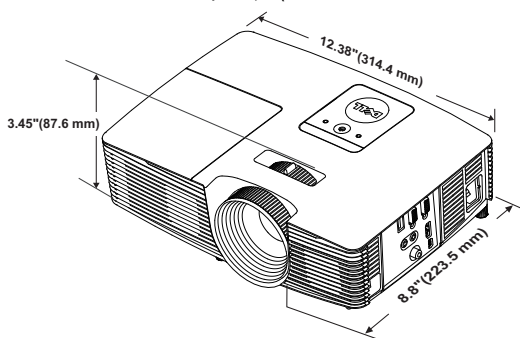
 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

5

仕様

ライトバルブ	1220: 0.55" SVGA S450 DMD、DarkChip3™ 1450: 0.55" XGA S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	1220: 2700 ANSI ルーメン (最大) 1450: 3000 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2200:1 標準 (フルオン / フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1220: 800 x 600 (SVGA) 1450: 1024 x 768 (XGA)
縦横比	4:3
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 X 1 X (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.41~2.55 焦点距離、f=21.8 ~ 24 mm 1.1 倍マニュアルズームレンズ 投影比 =1.95 ~ 2.15 ワイドおよび望遠 オフセット比 : 115 ± 5%
投影画面サイズ	27.5 ~ 252.4 インチ (対角)
投影距離	3.94 ~ 32.81 フィート (1.2 ~ 10 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ : NTSC : M (3.58 MHz)、4.43 MHz PAL : B、D、G、H、I、M、N、4.43 MHz SECAM : B、D、G、K、K1、L、4.25/4.4 MHz コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) : 1080i (50/60 Hz)、720p (50/60 Hz)、576i/p、480i/p HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p

電力供給	ユニバーサル AC 100 ~ 240 V 50 ~ 60 Hz (PFC 入力付)
消費電力	通常モード : 230 W \pm 10% @ 110 Vac エコモード : 195 W \pm 10% @ 110 Vac スタンバイモード : < 0.5 W
オーディオ ノイズレベル	スピーカー 1 つ、2 ワット RMS 通常モード : 34 dB(A) エコモード : 31 dB(A)
プロジェクトの重量	5.4 lbs (2.4 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	12.38 x 3.45 x 8.8 インチ (314.4 x 87.6 x 223.5 mm)



環境条件	動作温度 : 5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F) 湿度 : 80% 最大 保管温度 : 0 °C ~ 60 °C (32 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大 輸送温度 : -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度 : 90% 最大
I/O コネクタ	電源 : 1 つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット) VGA 入力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA 入力、(アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)。 VGA 出力 : 1 つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。

コンポジットビデオ入力 : 1 つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)。

HDMI 入力 : 1 つの HDMI コネクタ (HDMI 1.4a 仕様 HDCP 準拠のサポート用)。

アナログオーディオ入力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (青)。

可変オーディオ出力 : 1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。

USB (タイプ B) ポート : 1 つのミニ USB スレーブ (リモートのサポートおよびファームウェアアップグレード)。

5V 出力 : ドングルをサポートするための USB タイプ A 5V DC / 1 A 出力が 1 つ (1450 のみ)。

ランプ

OSRAM 190 W ユーザー交換可能なランプ

ランプ寿命

通常モード : 最長 5000 時間

エコモード : 最長 6000 時間



メモ : プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
640 x 480 p60	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
848 x 480	60.000	31.020	33.750
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1152 x 864	75.000	67.500	108.000
1280 x 960	60.000	60.000	108.000
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1152 x 864	85.000	77.095	119.651
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1400 x 1050	74.867	82.278	156.000
1280 x 1024	85.024	91.146	157.000
1440 x 900	84.842	80.430	157.000

1600 x 1200	60.000	75.000	162.000
800 x 600	119.972	76.302	73.250
1024 x 768	119.989	97.551	115.500



メモ : 120 Hz (灰色の領域) でのタイミングのリフレッシュレートは、3D モードでサポート可能です。

6

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ: インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

Dell では、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 www.dell.com/contactDell を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

7

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1平方メートルの画像を、9つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4×3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミネンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンポジットビデオ — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン / オフ 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI — 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン / オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスクリーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP® - Digital Light Processing™ — 小型操作ミラーを使用する Texas Instruments 社により開発された反射型ディスプレイ技術です。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro-Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI、HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンターテインメントを保護するために、Intel™ 社が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB — Red, Green, Blue (赤、緑、青) — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

SECAM — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array (超拡張グラフィックスアレイ) — 1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA — Video Graphics Array (ビデオグラフィックスアレイ) — 640 x 480 ピクセルカウント。

WEP — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 51, 52

Dell へのお問い合わせ 4, 42, 44

お

オンスクリーンディスプレイ

アドバンス 26

ビデオモード 26

ヘルプ 38

ボリューム 26

メインメニュー 24

輝度 / 明度差 25

言語 38

自動調整 25

入力選択 24

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 51, 52

し

仕様

I/O コネクタ 47

オーディオ 47

カラーホイール速度 46

コントラスト比 46

ノイズレベル 47

ビデオ互換性 46

プロジェクタの重量 47

ライトバルブ 46

画素数 46

環境条件 47

均質性 46

縦横比 46

消費電力 47

寸法 47

電力供給 47

投影レンズ 46

投影画面サイズ 46

投影距離 46

表示可能な色 46

明るさ 46

せ

接続ポート

+5 V DC アウトコネクタ 6

HDMI コネクタ 6

VGA 出力 (モニターループス
ルー) コネクタ 6

VGA 入力 (D サブ) コネクタ 6

オーディオ出力コネクタ 6

オーディオ入力コネクタ 6

コンポジットビデオコネクタ
6

ミニ USB (ミニタイプ B) コネ
クタ (リモートマウスおよび
ファームウェアアップグレー
ド用) 6

電源コードコネクタ 6

ワイヤレスディスプレイアダ
プタ 22

電源コード 18, 19, 20, 21, 22

て

電話番号 51

と

トラブルシューティング
Dell へのお問い合わせ 39

投影画像の調整

プロジェクタの高さ調整 8
プロジェクタを下げる
傾斜調整ホイール 8
前面傾斜調整ホイール
8

ふ

プロジェクタのズームとフォー
カスの調整

ズームタブ 9
フォーカスリング 9

プロジェクタのフォーカス調整
9

プロジェクタの接続

HDMI ケーブル 19
USB-A - ミニ USB-B ケーブル
22
VGA - VGA ケーブル 18, 21
オーディオケーブル 18
コンピュータへ 18
コンポジットオーディオケー
ブル 20
コンポジットビデオケーブル
20

ほ

本体 5

2W スピーカー 5
IR レシーバ 5
ズームタブ 5
ステータインジケータ 5
フォーカスリング 5
ランプカバー 5
レンズ 5
傾斜調整ホイール 5
電源ボタン 5

ら

ランプの交換 44

り

リモコン 13